

みんないひと体験講座等申請書 (申込) 変更) 【中央区】

社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会会長 殿
 次のとおり、申請いたします。

学校・団体名 **相模原市立富士野中学校**
 代表者(学校長) **富士田 陽子** 印

※太枠線内のみ記入

学校 団体名	富士野 (小 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 大) 学校	担当	山田 富士夫 <input checked="" type="radio"/> 先生 <input type="radio"/> PTA <input checked="" type="radio"/> (男) <input type="radio"/> (女)
開催時間	令和 〇〇年 〇月 〇日(月) 13:30 ~ 15:10 集合 (13:15) 解散 (15:30)		
住所	相模原市 中央区富士見6-1-20		
電話	042 (786) 6181	FAX	042 (786) 6182
対象者	1年生 110名 +保護者 名	謝礼	<input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
内容	1 肢体不自由者の理解 <input checked="" type="checkbox"/> 講話 30名 <input checked="" type="checkbox"/> 車いす体験 30名 <input type="checkbox"/> ハンディキャブ号体験 _____ 名 2 視覚障がい者の理解 <input checked="" type="checkbox"/> 講話 40名 <input checked="" type="checkbox"/> 誘導体験 20名 <input checked="" type="checkbox"/> 点字体験 20名 3 聴覚障がい者の理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーションⅠ _____ 名 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションⅡ 40名 <input type="checkbox"/> 講話のみ _____ 名 4 高齢者の理解 <input type="checkbox"/> 講話 _____ 名 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座 _____ 名 <input type="checkbox"/> 高齢者疑似体験 _____ 名 5 共生社会の理解 <input type="checkbox"/> 講話 _____ 名 <input type="checkbox"/> 施設フィールドワーク _____ 名 6 その他 <input type="checkbox"/> 盲ろう体験 _____ 名 <input type="checkbox"/> パラスポーツ体験 _____ 名 <input type="checkbox"/> 災害時活動体験 _____ 名 <input type="checkbox"/> LGBTQ _____ 名 <input type="checkbox"/> 発達障がいの理解 _____ 名 <input type="checkbox"/> 福祉・介護のしごと出張セミナー _____ 名 <input type="checkbox"/> その他 (_____)		
貸出のみ	<input type="checkbox"/> 車いす _____ 台 <input type="checkbox"/> アイマスク _____ 枚	<input type="checkbox"/> 高齢者疑似体験セット _____ セット	

講座コース	対応内容	講師名	連絡先

講師選定結果送信日 月 日

課長	係長	担当	相談員	合議

※ 別紙の書式で開催要領を作成し、遅くとも開催日の一か月前までに申請書と共に御提出ください。
 ※ 御不明な点等は、中央ボランティアセンターまでお問合せください。

電話：042 (786) 6181 FAX：042 (786) 6182

Eメール：svc@sagamiharashishakyo.or.jp

みんないいひと体験講座 計画書

学校（団体）名： 相模原市立富士野中学校 教諭（担当）名： 山田富士夫

1 目的・学習のねらい

本校の総合的な学習の時間のねらいは、「自ら学ぶ力、生きる力の育成」である。自分を大切にし、自分の夢を持った人間性豊かな社会の構成員として、共に生きていくことのできる生徒の育成に力を注いでいる。その中で、体験的学習活動を主軸とした課題解決学習を通し、人権感覚を磨くとともに、生徒が自ら学び、自ら考え、地域社会の一員として主体的に地域社会に参加する学習を実施している。

第1学年では、「私と地域」というテーマで、①福祉のための学習（本体験講座を含む）②校外学習の体験から、「地域」を見つめる学習 ③課題解決を志向し、個人別にテーマを設定し、「地域」の課題についてできることを考える学習 を実施している。相手のことを考えるきっかけとして、様々な立場の人と触れ合う体験を通し、社会の中の課題が自分の生活とつながっていることに気づくことで学習を深めていきたい。

2 内容・会場・当日の流れ

- 13:15 講師集合・担当教諭との最終打合せ（1階 会議室）
- 13:25 講師お迎え（各教室へ）
- 13:30 体験学習開始 各講座は、まず講話を30分程度聞いた後、体験学習を60分行う。（講話と体験の間に、移動を含む休憩が10分）

各講座の場所・人数・担当教員

講座	講話	体験	担当教員
肢体不自由者の理解	1階ランチルーム（30人）	車いす体験（30人）：昇降口前 ※雨天時は、体育館を使って実施	〇〇教諭
視覚障がい者の理解	図書室 （40人）	誘導体験（20人）：図書室→校庭	〇〇教諭
		点字体験（20人）：4-1教室	〇〇教諭
聴覚障がい者の理解 （コミュニケーションⅡ）	多目的室 （40人）	手話体験（20人）：4-3教室	〇〇教諭
		要約筆記体験（20人）：4-4教室	〇〇教諭

- 15:10 体験終了
- 15:15 講師との反省会
- 15:30 解散

体験講座が教育課程の中でどのような位置づけであるか、学習の目的や教科全体の中でどのようなねらいをもって実施するか等を記載してください。

3 特記事項（要望・質問事項など）

生徒が興味を持つきっかけづくり、障がいのある方たちの日常生活での困り感とそのことをサポートする市民の活動について、お話をお願いしたい。
事前学習用の教材・ビデオ等があれば、紹介していただきたい。

4 学習計画（現在までの流れ・今後の活動計画）…欄が足りない場合は別紙にて送付してください。

【小・中学校の場合記入： 1年 教科（総合的な学習の時間） 全（10）時間】

時間	学習活動	具体的な内容・資料・ワークシート等
10	「自ら学ぶ力、生きる力の育成」に向けて	全5コマで構成する
(1)	①体験講座ガイダンス	アイスブレイク、DVD視聴、ワークシート1
(1)	②体験講座決定	みんないいひと体験講座資料、ワークシート2
(3)	③事前学習1～3	PC、書籍による調べ学習 ワークシート3・4
(2)	④体験講座 実施	～上記2に記載～
(3)	⑤事後学習	ワークシート4（振り返り）ワークシート5（発表原稿） 発表会（グループ内で発表し代表者がクラスで発表） ※2年生になったら地域でボランティア経験を積ませたい

単元（題材）の全時間において実施する学習内容など、体験講座の前後で児童生徒がどのような活動を行うかを記載してください。

※使用する資料／ワークシートの見本を送付してください。